



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 光ハイツ・ヴェラス
 コード番号 2137 URL <http://www.varus.co.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 千恵香

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 折田 岳久

TEL 011-520-8668

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,644	2.2	159	7.6	199	43.7	120	48.9
29年3月期第2四半期	1,609	0.9	147	△4.9	139	△7.2	81	△5.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	57.87	—
29年3月期第2四半期	38.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,646	3,505	45.8	1,677.87
29年3月期	7,600	3,409	44.9	1,631.97

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,505百万円 29年3月期 3,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想は未定としております。

3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,290	3.0	320	28.8	300	△5.0	180	△9.5	86.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	2,089,200 株	29年3月期	2,089,200 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	— 株	29年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,089,200 株	29年3月期2Q	2,089,200 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における北海道の経済は、昨年8月に北海道を襲った台風による被害の影響が一部地域の復旧工事の本格化による公共投資の増加が見られました。また住宅投資、観光関連需要などもあり北海道内の景気は、持ち直し基調で推移しました。個人消費は、雇用・所得情勢が緩やかな改善傾向となりました。しかし、当業界においてはサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム等の乱立の影響もあり、顧客獲得競争の激化、雇用情勢は厳しい状況が続いており、北海道内大手の介護事業者の倒産が起きるなど、高齢者介護事業に対する風評被害が懸念されております。

このような状況の下、当第2四半期累計期間において、当社は昨年から前面に打ち出しました入居しやすい新たな家賃方式を入居一時金方式と併用した営業活動・入居促進を行いました。低価格家賃を売りに新規開業する施設との差別化を図り、介護サービスの質の違いなどソフト面でのアピールも強化したことにより、入居者獲得競争が激化する中でそれらが徐々に功を奏し、全施設平均入居率約92.6%を維持・確保いたしました。また、雇用情勢が依然として厳しい中においても、優秀な介護人材の確保に努め、高質な介護サービスの提供を重要課題と捉え、従業員の接遇教育、介護技術のレベル向上を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,644百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益159百万円（前年同期比7.6%増）、経常利益199百万円（前年同期比43.7%増）、四半期純利益120百万円（前年同期比48.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は6,447百万円となり、前事業年度末に比べ61百万円増加いたしました。これは主に入居一時金の収入によるものであります。固定資産は1,198百万円となり、前事業年度末に比べ15百万円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は、7,646百万円となり、前事業年度末に比べ46百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,258百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に未払金が増加したことによるものであります。固定負債は2,883百万円となり、前事業年度末に比べ89百万円減少いたしました。これは主に長期入居金預り金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,505百万円となり、前事業年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.8%（前事業年度末は44.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,910,111	5,955,128
営業未収入金	341,723	355,881
商品	1,621	1,675
その他	132,564	135,224
流動資産合計	6,386,020	6,447,909
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	443,866	428,858
その他(純額)	157,205	162,750
有形固定資産合計	601,072	591,608
無形固定資産		
リース資産	39,536	32,142
その他	6,828	6,800
無形固定資産合計	46,365	38,943
投資その他の資産		
その他	568,908	570,150
貸倒引当金	△1,863	△1,863
投資その他の資産合計	567,044	568,286
固定資産合計	1,214,482	1,198,838
資産合計	7,600,503	7,646,748
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	89,627	91,451
入居金預り金	635,572	628,163
介護料預り金	65,726	64,660
賞与引当金	17,981	27,033
その他	309,012	346,965
流動負債合計	1,217,920	1,258,273
固定負債		
長期入居金預り金	2,053,432	1,987,126
長期介護料預り金	225,201	216,283
退職給付引当金	52,352	51,518
役員退職慰労引当金	24,382	26,064
その他	617,703	602,080
固定負債合計	2,973,072	2,883,073
負債合計	4,190,992	4,141,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	686,296	686,296
資本剰余金	566,296	566,296
資本準備金	566,296	566,296
利益剰余金	2,156,299	2,252,139
利益準備金	3,855	3,855
その他利益剰余金		
別途積立金	384,000	384,000

繰越利益剰余金	1,768,444	1,864,284
株主資本合計	3,408,893	3,504,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	616	667
評価・換算差額等合計	616	667
純資産合計	3,409,510	3,505,400
負債純資産合計	7,600,503	7,646,748

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,609,403	1,644,541
売上原価	1,316,091	1,326,023
売上総利益	293,312	318,518
販売費及び一般管理費	145,464	159,445
営業利益	147,847	159,073
営業外収益		
受取利息	414	367
受取配当金	27	27
受取手数料	1,964	2,164
受取賃貸料	6,106	9,297
寄付金収入	—	40,071
還付加算金	73	—
その他	1,580	6,759
営業外収益合計	10,166	58,688
営業外費用		
支払利息	16,648	15,935
長期前払費用償却	1,703	1,680
その他	589	236
営業外費用合計	18,941	17,853
経常利益	139,072	199,908
税引前四半期純利益	139,072	199,908
法人税、住民税及び事業税	64,544	81,901
法人税等調整額	△6,694	△2,903
法人税等合計	57,850	78,997
四半期純利益	81,222	120,910

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。